

松本市の維持向上すべき歴史的風致

松本市は、北アルプス連峰や美ヶ原高原などの山並みを背景に望み、国宝松本城を中心とする約400年前に形成された町割や、歴史的建造物などの歴史的資源が四季折々の美しい表情を見せている。また、豊かな湧水による水めぐる城下町は、先人たちにより生まれ、受け継がれ、人々の営みが、道祖神を始めとするさまざまな習俗、祭礼といった文化的資源を心のよりどころとして継承されている。そして、これらが一体となって良好な市街地の環境が形成され、松本市固有の歴史的風致を生み出している。

道祖神にみる歴史的風致

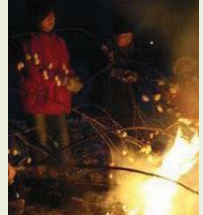
道祖神は、ムラの繁栄につながる万能の神様として信仰され、道祖神を祭り繁栄を祈る習俗が市内各所で行われ、春を待ちわびる人々の心のよりどころとなっている。



道祖神



御柱



三九郎



商都松本にみる歴史的風致

あめ市は商都松本の冬の代表行事で、市神様を祭り、一年の商いを占う初市が松本商人の知恵によりあめ市と名を変え、引継がれている。市神様の碑を中心に市が立ち、子供のあめを売る声が響き、新年の城下町に賑わいを見せている。



あめを売る子供たち



本町「御本社」市神祭

水めぐる城下町にみる歴史的風致

松本城下町は、湧水に恵まれた地に形成され、日常生活に用いられるとともに、酒造などの産業に利用されてきた。今も井戸は市民の活動に支えられ、水を汲む人々でにぎわいを見せ市民のかけがえのない宝となっている。



源智の井戸



「善光寺道名所図会」源智の井戸の挿絵

ぼんぼんと青山様にみる歴史的風致

祖先の霊を迎える風習であるぼんぼんは、近代には青山様を生み、城下町の風情が残る町割を舞台に、女の子の下駄の音と哀愁を帯びたぼんぼん唄、男の子の青山様の掛け声が聞こえ、松本の夏の風物詩として城下町の風情を高めている。



ぼんぼん



青山様

近代登山にみる歴史的風致

槍、穂高連峰を始めとする北アルプスとなだらかな山容の筑摩山地の登山道、山小屋は、多くの登山者と色とりどりのテントで賑わい独特の山岳景観を醸し出している。



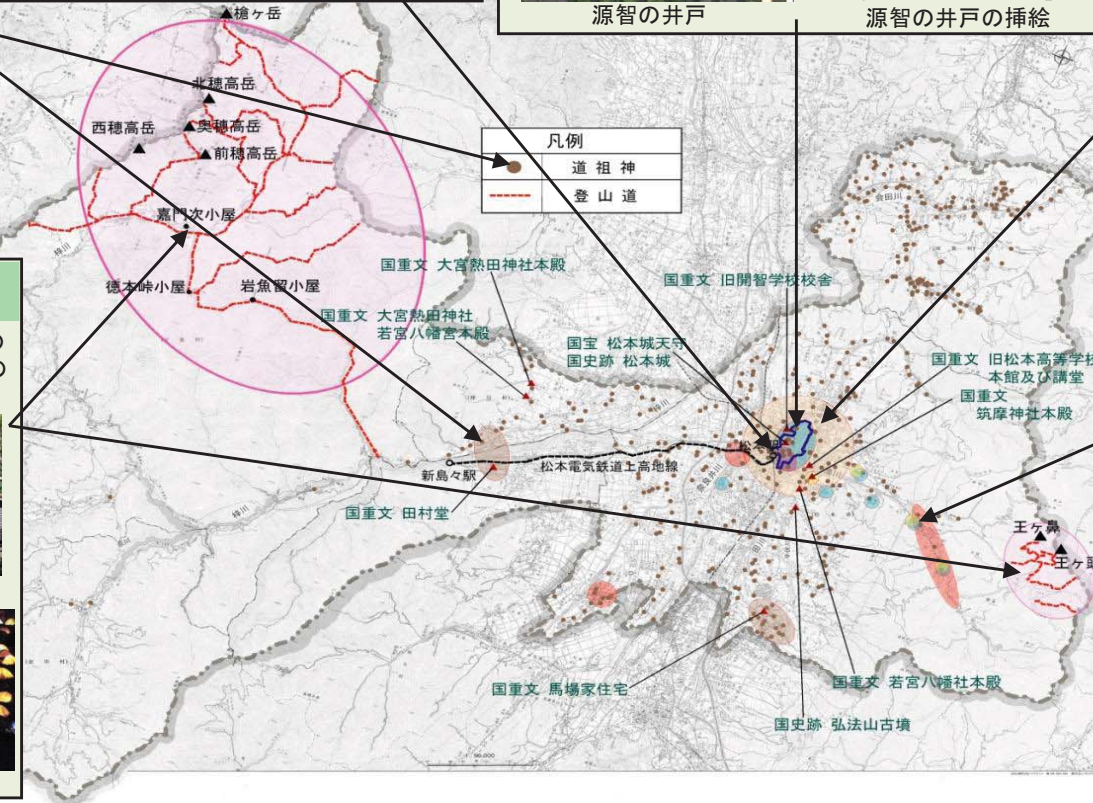
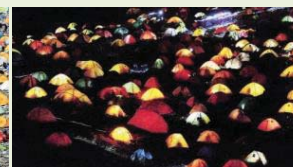
槍ヶ岳登山風景



徳本峠小屋



涸沢のテント



お船祭りにみる歴史的風致

村内を訪れる産土神の霊の乗物であるお船を曳きまわすお祭りで、残雪の北アルプスを映す水田のなかを神社に向かうお船は華麗で、お祭りが終わると田植えの季節を迎える。



拝殿を回るお船



町内を巡るお船

松本市の重点区域における施策・事業概要

松本城南・西外堀復元事業



南外堀事業箇所の現状



西外堀事業箇所の現状

南・西外堀の復元整備により、松本城と城下町が一体となった歴史的景観を創出し、城郭としての風格や魅力の向上を図る。



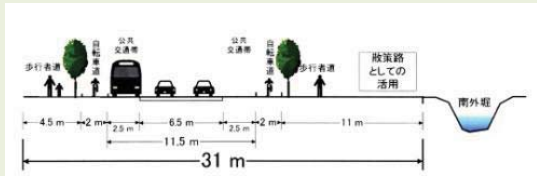
事業位置の現状(上空から)

都市計画道路内環状北線整備事業

通過交通の分散を図り、歩道を広く確保し、居住者の利便性や観光客の回遊性を高め、隣接する外堀復元事業と連携し、電線類の無電柱化などで歴史的景観に配慮した整備を行う。



事業箇所の現状



思いやりゆずりあいゾーン事業

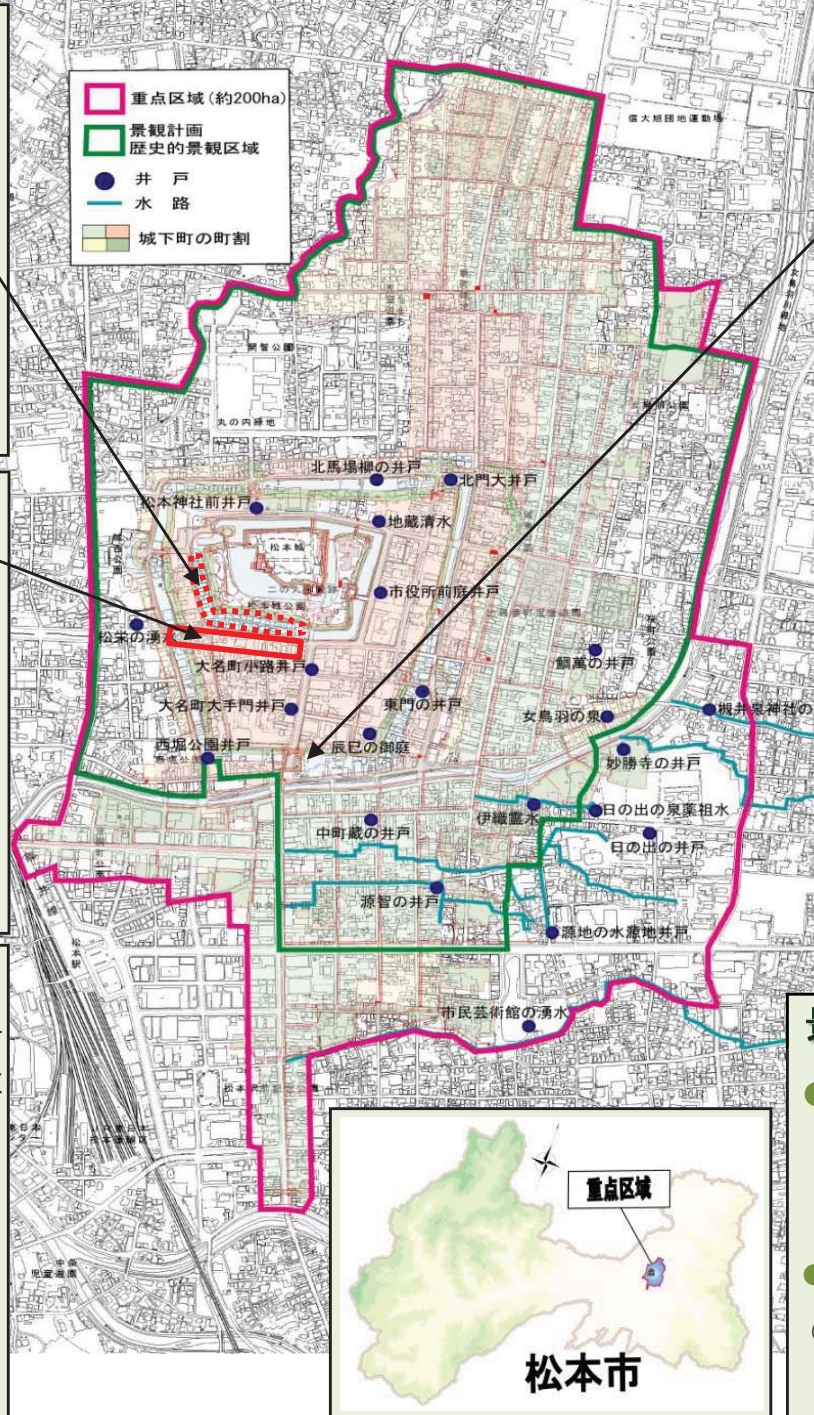
歩行者、自転車利用者の視線で、限られた道路空間を再配分することにより、人、自転車、車が共存できる空間整備を行い、徒歩、自転車の移動のネットワークを形成し、安心して回遊できる環境を整える。

人々の活動においても、安心して安全に活動できる空間が生まれ、歴史的風致の維持向上が図られる。



整備例(路側帯の確保カラー舗装)

- 車道幅の見直し
- 路側帯の確保
- 路側帯のカラー舗装
- 休憩場所(ベンチの設置)の確保



松本城大手門枡形周辺整備事業

大手門枡形は、城下への南の入り口として造られ、当時の都市構造を現在に伝える貴重な歴史遺産であり、この場所の用地を確保し、市民のいこいの空間として整備することにより、今後の城下町整備の機運を高め、城下町の回遊性の向上を図る。



事業箇所の現況



整備イメージ案

水めぐりの井戸整備事業

松本の歴史的風致をなす湧水の活用をさらに広め、観光資源や市民の水汲み場として利用することにより、新たな回遊ルートの創出などで、歴史的風致の維持向上を図る。

個人所有の井戸の整備費に補助金を交付し、井戸利用の促進を図り、井戸を活用した緑とうるおいある快適な住環境の創出を推進する。



整備例(井戸改修)

景観形成に関する施策

●景観計画

地域の特性や住民の意向を反映させるため、地域住民の合意を得ながら景観形成基準(行為制限)の上乗せを随時追加して行く。さらに、建築物の高さ制限については、より実効性を高めるため、高度地区、地区計画等の都市計画決定をめざす。

●屋外広告物

条例の周知に取組むとともに、市民意識の高揚に努め、松本市の多様な景観(自然、山岳、田園、市街地、城下町など)の保全や形成をめざす。